



開発者インタビュー

農林水産業分野

広告とPRのプロ集団が仕掛ける アグリ活性・食材加工アラカルト。

株式会社トレードマーク 事業実施場所：南相馬市

実用化計画開発期間 2018年度～2020年度

加水分解技術による農林水産物の加工・研究及び 6次産業化商品開発

売れる味わい、機能をプロデュース

食の分野に特化して情報や思いを、つなぐ、広めるワクワク感を覚えます。トレーサビリティも対象に、安心・安全を巡る信頼性を科学的な手法で高めた上で、より多くの皆様から「食べてみたい」とか「おいしい」とか声が寄せられる。そんな6次化商品のプロデュースを手掛けています。原材料として活かすのは、南相馬市等で獲れる農林水産物です。

プロジェクトを象徴する基盤的なファクターとして、食品製造でフル活用を図るのが加水分解技術です。とりわけ超発酵加速を可能とする装置の実用化を目指し、スペック検討ほか研究開発を進めています。

その稼働シミュレーションは、野菜・肉・魚などの食材と水とを混ぜ合わせる攪拌という工程で始まります。このようにして流動化した状態に加熱・加圧を施し、発酵の加速化とともに無菌化プロセスを促します。次いで遠心分離機を用い、商品づくりに必要と判断された特定の成分を抽出するとともに、要らない成分は除去します。たとえば青魚ならDHA・アミノ酸・タンパク質を優先して商品コンセプトや製法を立案、そこに生産から供給を結ぶシステム、販売促進プランが連動していくイメージです。さらに水溶性プロテイン、野菜の栄養素を凝縮した粉末状サプリメント、米ぬか成分を活かすコスメティック用品などなど多様な製品づくりの心臓部、それが加水分解×超発酵加速装置なのです。

すでに100パターンほど、サンプルを作成しました。「何が売れ筋になり得るか」と検討を重ね、消費者の視点にも立って購買動機を喚起できるようなマーチャングライジングを深耕させます。その際、出口となるマーケットを医療・介護の分野と想定すれば、健康づくり・未病への対策というキーワードからヒントを得て、味や規格に反映させられます。



株式会社トレードマーク 代表取締役社長
玖島 裕氏



遠心分離機による分離実験



お米ドリンクの商品化実験

その土地のストーリーを紡ぐ食材

私たち tRADEMARK は、広告クリエイティブの第一線で培ってきたノウハウを持っています。さまざまなソフトパワーを全社一丸で発揮、南相馬市での地域プロデュースを通して明日への可能性を引き出すことにモチベーションが湧いてくるのです。人材やメディアとのネットワークを介して良質な情報、協働してくれる仲間たちも得られるでしょう。

アンテナは鋭敏に、まずは復興途上ゆえのリアル課題を自治体や生産者と共有してみる。その心がけが、すべての始まりだと実感しています。

原材料に由来する情報、食べ物づくりで織り成されるストーリー、オリジナルな商品価値、さらに売り出し方のイメージ・実施プランは「デザインツールシステム」と位置づけたデータベースに統合します。生業に寄せる農家さんの思い、仕事ぶりもフォローしておきたいものです。

DB は、EC プラットフォームと連動

方向性が固まると、テキスト作成・撮影・編集・デザインなど多様なクリエイティブワークが発生します。ロゴタイプ・ラベル・パッケージ・パンフレットのようなグラフィックツール、さらに動画コンテンツをプロのクリエイターが手掛けて電子化。情報発信や販売促進に提供できるスキームを組み込んだのも、6次化支援の特長です。また、デザイン工程のクラウドソーシング化で、ワンストップ体制が整います。

EC プラットフォームには商品ごとの規格・価格・在庫数・賞味期限・JAN コードなどが一覧的に集められます。データベースに収めたコンテンツ情報を取得・転用して商品ページを自動で作成…このように便利な機能も、ユーザビリティ拡充の一環として付加する構想です。

セキュリティ強化と併せ、サーバ・ストレージに掛かる負荷とコストを削減するため、EC プラットフォーム管理に、ブロックチェーンを採用します。データが改竄されたり、在庫・注文が二重に計上されたりするのを防ぎ、トレーサビリティへの信頼を高めるアイデアです。ふるさと納税への対応、仮想通貨が導入される状況も視野に入れながら見やすく使いやすく、購買意欲を喚起するシステムを目指しています。

一つの現場を足掛かりに、加水分解・超発酵加速装置とともに普及を図っていかうと思います。これらの活用の道が開け、浜通りへ導入事例が広がるよう願っています。ハイスpek機器、画期的なプラットフォームが受け入れられ、商品がヒットするかと考えると、楽しみが増えます。

オモテナシ製品の誕生を心待ちに

●南相馬市 経済部 商工労政課

「市内に工場、そして事業所を設置するなど、この地域に根ざした活動を展開している御社の取り組みに期待を寄せています。今後、最先端技術（加水分解）を活かして日本酒などが製品化され、それらの産品で本市を来訪する皆様にオモテナシできる日を心待ちにしております」

法人概要



PROFILE

企業名 ▶ 株式会社トレードマーク
 設立 ▶ 1999年11月1日
 従業員数 ▶ 20名
 売上高 ▶ 12億3,222万円
 住所 ▶ 〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-11-1
 オランダヒルズ森タワー RoP 1108
 TEL ▶ 03-3431-1800
 担当 ▶ 総合プロデューサー 沖村 智
 URL ▶ <http://tmark.jp>

OUTLINE

大手広告会社に数々のプロモーション戦略、ヒットCM・広告を手掛けたプロデューサーが立ち上げました。人と人とのコミュニケーションが生まれるところプロデュースの可能性あり。南相馬市での取り組みは、地域事業部と広告事業部がブランディング・プロモーションの観点で目的意識を共有しながら取り組んでいます。

